

2023.October AUSTRALIA

Studying abroad report

Namiki Hirohama
10月 月例報告書
Southern cross university



“October, my last month in Australia and back home

11月に帰国し今は日本でこのレポートを書いている。絶賛逆ホームシックに陥り、楽しかった留學生活・オーストラリアに帰りたくて仕方がない。今の私は、ディズニーランドから帰ってきた状態と同じだ。夢の国？オーストラリアから自宅に戻った。当初は怖くて留學に行きたくなかった。住み慣れた日本・無償の愛を注いでくれる家族・長い時間をかけて築きつけた真に私の事を理解してくれる友達から、自分から去り始めは孤独の中、何処かも分からない異国の地で生活をする。勇気と勢いで飛び出して、初めは叩きのめされてそれでも助けを求めながら、自分で行動して何とかするしかなかった。たまにキラキラしていた海外大學生活も、ネイティブの10倍時間をかけて取り組んだ泣きたくなるくらい難しい課題も、履歴書を持って自己アピールをしながら50軒以上回ってやっと得たバイトも、ソーシャルイベントや大学で出会った年齢・性別様々な各国からの沢山の友達も、ジェントルマンすぎてビックリした国際恋愛も、何でも語り合える中国人の親友も全部毎日必死に生きてきたから出来て、乗り越えられた。留學は語学力だけでなく、私の人間性・柔軟性・積極性・生活力・行動力・適応力を劇的に伸ばしてくれた。さらに変化を恐れない自信を持った強い女性になった気がする。今まで生きてきた20年間の中で一番濃くて充実した9か月間であった。そして、人生で一番楽しい時間を過ごした。20歳という節目に子供の時から夢で、英語学習をする私の意地でもあったオーストラリア留學ができて本当に良かった。全てやり切った。後悔は一つもない。

最終月10月は今までで一番充実していた。バイトの最終シフトをこなし、ホストマザーJulieの元から去り中国人の親友のお家に居候させてもらい、友達を集めてお別れパーティーをしたり、ビーチで泳いだり、Sunriseを見に行ったり、クッキングをしたり、アウトレットで400ドル爆買いしたり、友人たちが空港にお見送りに来てくれてフライトに乗り遅れそうになったり・・ Gold Coastを去り、Melbourneを観光し、郊外のBallaratに行き、4年前に高校のオーストラリア語学研修で出会ったホストマザーを訪れステイさせてもらった。Visaの期限のため、11月にMelbourneから10時間半のフライトで日本に帰ってきた。久しぶりの日本は驚きと感動が沢山だった。自動洗浄に驚き飛び跳ね、中トロ・大トロ・赤身のマグロ寿司を食べてとろけてひっくり返りそうになった。家族や友人と泣きながら再会し、母親の手料理を半ベそかきながら食べて床でお昼寝し念願のお風呂に入った。幸せ～、だがしかし心にぽっかり穴があいたような虚無感と喪失感を感じている。オーストラリアで日々刺激を受け異なる言語・環境の中生活をし、沢山の多国籍の友達に囲まれ自由に充実した日々を過ごした。自分の居場所が見つかったと思えた。日本に帰って感じる事は、何だか分からない生きにくさ。通りがかりにHello, how is it going?と挨拶する人はいないし、皆無言で会釈だけしてスマホばかり見ている。オーストラリアのような綺麗なビーチや自然はないし、日本語だけしか使わないし、アスファルトと電線に囲まれて、服装も気をつけないといけないし、駅前には金髪の若者達が騒いでるし…つまらない。恋しい友達やホストマザーは8000キロメートル以上離れた場所にいる・友達から就活の話聞いて将来への不安は増す・語学力も使わなければ落ちていく。しかし、すぐに私も日本の生活に慣れ新しい事を始めるだろう。何処にいたとしても、そこに縛り付けられていると思う必要は全くないし、何時でもオーストラリアに帰る事はできる。多分将来、日本に一生いることはないだろう。沢山の国、そこにいる友達を訪ねに行こう。もっと新しい世界を知りたい。以前の日本にいた毎日ボーっと無駄に時間を過ごしてきた私とはもう違う。次は何をしようか。

THANK YOU FOR MAKING MY AU LIFE WONDERFUL♡

NAMIKI FAREWELL PARTY



7th October (Saturday)
At 2:00pm South Lakes At Varsity

- BBQ • Costco
- Swimming Pool



My farewell party



“Farewell party”

Gold Coastを離れる前に、友達を集めてお別れパーティーをした。海外は、誕生日パーティーなど自分で主催・企画をする。フィリピン・アメリカ・中国の特に仲良しの友達と共にパーティー会場の予約・デコレーション・招待状・フードやドリンクなどパーティーのオーガナイズをした。全ての友達とキャッチアップ出来たわけではないが、オーストラリア・アメリカ・フィリピン・ドイツ・スペイン・コロンビア・中国・台湾・韓国からの友達に来てくれた。BBQやピザ、ありえない量のチップスとお酒と風船に囲まれながら今までの思い出を語り合ったり、ゲームをしたり歌って踊ったり楽しい時間を過ごした。I will miss youと書かれたデコレーションケーキをサプライズでプレゼントしてくれた。さらにパーティーの最中にとてもキレイな虹が空にかかっていた。祝福された気持ちになった。沢山の友達のおかげで私の留学生活はとても楽しいものになった。彼らには本当に感謝している。

“This is not goodbye, It’s until we catch up next time”



今までの思い出が詰まった写真とメッセージの書かれたアルバムと、ネックレスをお別れのプレゼントに貰った。最後に、「It was meant to be.」ナミキは初め大変な日々を過ごしたと思うけど、それも全て含めてナミキは私の元に来る・私達は出会う運命だったんだよと伝えてくれた。大号泣する私に、「Toughen up buttercup」と言って最後までジョークを言って笑わせてきた。本当に大好きなホストマザーでした。ビーチや公園にお散歩に行ったり、せっかちなJulieの一瞬で終わるお買い物と一緒にいたり、車の中で流れている音楽について語ったり、スイーツと一緒に食べたり、テレビや映画と一緒に見たり、swear wordsやジョークを言い合って爆笑したり彼女との毎日は本当に楽しかった。感謝してもし尽くせない。今も毎日メッセージを取り合っている。またすぐに会いに行きたい。

“Daily life with friends”

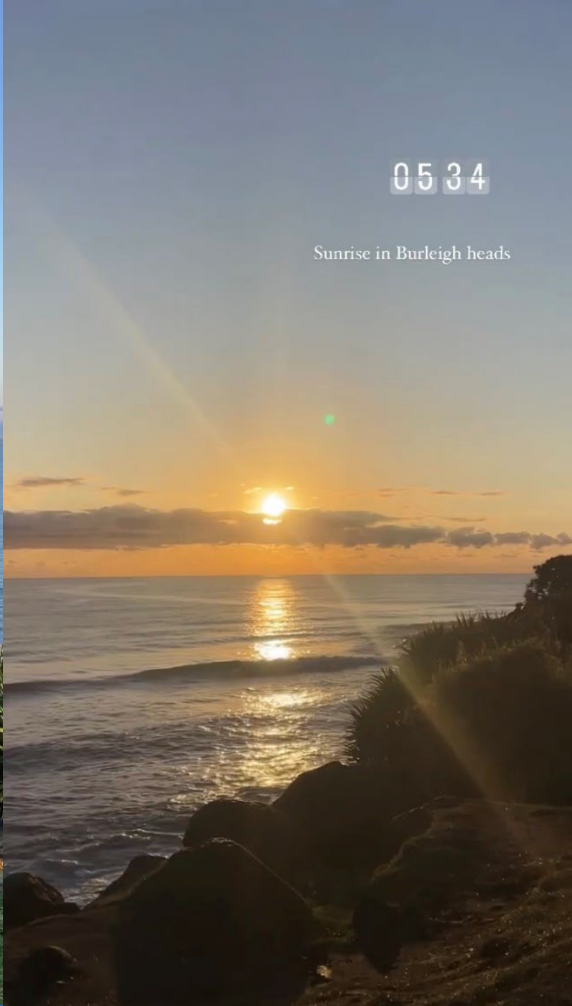
ホームステイ契約終了後は、ゴールドコーストを去るまでフィリピン・アメリカ・中国の友達の家泊まらせてもらった。カフェに行ってビーチで泳いだり、豪邸の友達の家プールとサウナやジムに行ったり、夜にrooftop barで可愛いカクテルを飲んだり毎日呑気に過ごした。ゴールドコースト最終日はビーチで泳いだり音楽を聴いて砂浜でゴロゴロ。最後の晚餐は中国人の友達が二人がかりで豪華な中華料理を作ってくれた。(豚耳・豚足・蒜苔炒肉 土豆炖豆角 番茄炒蛋 醋溜豆芽 酸菜大骨头 炸酱面 蚝油生菜 麻婆豆腐)

Readers appreciate

0534

Sunrise in Burleigh heads

My last day in Gold Coast



9m/s too windy for beach



TRIP Melborne and Ballarat IN

Gold Coastから3時間のフライトでMelbourneとBallaratに訪れた。4年ぶりに高校でのオーストラリア語学研修で出会ったホストマザーと再会し彼女の家に約2週間滞在した。彼女はベジタリアンで農場を持ち、アルパカ・羊6匹・ネコ7匹・ひな鳥11匹・鶏3匹・犬2匹と養子3人と暮らしている。WIFI・テレビなどの電化製品はほぼなく、庭の木を集め暖炉を使ったり、日中は農場のフェンスを一緒に直し、動物のお世話をし、本を読みチェスをするというような平和な日々を過ごした。オーストラリアの養子制度や教育システムの欠点・動物虐待・放棄・Visaや異文化についてなど学識の多い彼女と話をするのは興味深く毎晩紅茶を飲みながら色々な事を語った。彼女は私のオーストラリアのお母さんだ。4年前に出会いましたこうして再会し楽しい時間を共に過ごす事ができ幸せだった。場所や国籍は関係ない、人が繋がっている限り縁は続くと信じている。PS: GCとの20度以上の温度差で一週間ほど風邪をひいたのが無念だった。





4年ぶりの再会

I could finally see Susan, my Australian mother, again for the first time in 4 years

高校生の時、語学研修で出会った大好きなホストマザー



I finally returned to Barallat, my second home. Nothing has changed, and I love life here, surrounded by heaps of animals, without TV, Internet, and technology.





Back home

What I have learned from studying in AU

1. 幸せ

家族がいる事・安心して帰る場所がある事・愛されている事・お金も払っていないのに家でご飯が食べられること・日本語で簡単に話ができる事・お米のお替りがある事・お風呂・裸足で床に寝転がれること・叱ってくれる人がいる事・バスや電車が時間通りに来ること。日本人は幸せの基準が高すぎて、自分が幸せと気づく人が少ないように感じる。国境を越えれば、当たり前や常識が全く通用しなくなる。邪魔者扱いされて、私を気にする人など誰もいない環境を生き抜いて、人の厳しさに触れて家族や愛してくれる人への有難みが分かった。社会や政治問題で自国から逃げて追われてAUにいる人、留学に来れるだけでも私は本当に恵まれている。

2. 語学は生涯学習

英語は留学に来て劇的に伸びた。24/7英語を使って生活するのと、英語を勉強するのは全く別の話だ。電話をかけて税金の手続きをしたり、大学で自分の意見を発言する、沢山のswear wordやスラングで友達とからかいあう・喧嘩する・コミュニケーションを取りながら仕事をする、日常生活には全く支障がない。しかし、やはりネイティブレベルには及ばない。友達はナミキなんてAUにいるのたかが9か月でしょ？短すぎるよとみんな言う。結局、英語は生涯学習なのだ。しかしだからこそ、言語学習は楽しいと感じる。確かにdeeplや翻訳機にかければ他言語も理解できる世界、語学力なんて要らないと思う人もいるだろう。しかし、それで言語の壁を越える事ができるとは思わない。結局、語学はツールであってそれを活かして人間同士を繋げたり、絆を深めたりする。自分の気持ちを伝え人と心を通わせるにはやはり、自分の言葉・声が必要だと私は信じてる。私はこれからも語学勉強を続ける。次は中国語をもっと極めたい。

3. 無知

日本の事を全く知らない。ダーウィン空襲などオーストラリアと日本の間で起きた出来事も私はオーストラリアに車で知らなかった。自国の事さえ「知らない」「知識不足」、ただただ恥ずかしい。また、海外の友達は色々な視野や幅広い興味・知識がある。日本の放射水放出・安倍元総理暗殺・原子爆弾・自然災害など、沢山の話題が出る。大学の授業でも、ほぼ全ての生徒が発言をする。学んだ知識を基に自分の意見を持つこと・自国や世界について知る必要があると痛感した。

4. 多忙すぎる海外大学生活。

サザンクロス大学は航空・ビジネス・ナース・観光など沢山の科目が学べる。日本とは全く異なる予習などの自己学習に重きを置いた学習システム・企画立案を含む実践的なアセスメント・学生が参加して教授と共に作る授業形式・週2.3回の対面授業とオンライン授業・沢山の留学生や幅広い年齢の学生。膨大なアサイメントの量・早すぎるネイティブ英語とグループディスカッション。クラスで一国二制度など、Seriousなトピックを香港・台湾・ドイツなどの各国の留学生と語ったり、教授がケーキを持ってきたり、毎週大学のアクティビティーであるヨガやズンバクラスに参加したり、図書館やラウンジで友達と世間話をしながら勉強したり楽しかった。

What I have learned from studying in AU

5. 仕事

サラダカフェでバイトをした。作業内容は野菜や麺の調理・カット。オーダー、レジ、ドリンクや料理の提供、掃除。ベジタリアン、グルテンフリーオプション、カスタムなどオーダーに合わせて柔軟にサラダを調理。高い賃金:時給28ドル(日本円2700)、シフト管理はスマホアプリで柔軟に・休みを取ることにプレッシャーは全く無し・理由の説明も不要でただアプリに勤務可能日を登録する。Bossやマネージャーと仲良しで、お客さんとも友達のようにコミュニケーションをとる。日本人真面目に働きすぎと馬鹿馬鹿しくなるほどだ。しかし海外で働くのも、大変だった。まずは、履歴書を持ってローカルの飲食店を回り、アポ無しで突撃し雇用の有無・自己アピール・勤務可能日を伝える。50店舗以上回り、ようやく仕事をゲットした。Superannuation(年金)やTax return(税金)は日本では雇用主が処理するが、オーストラリアは各自で申請し作業しなければいけない。オーストラリア・スペインやチリ、多国からの方と働いた。ピリピリ、身を粉にして働く日本人以外と働くのは結構ストレスフリーで、私は楽しんで働いた。

6. 朋有り遠方より来る

せっかくオーストラリアにいるのだからと、日本人のコミュニティには一切入らず海外の友達を作ることに固執した。バックグラウンドも人生経験も価値観も全く異なる彼らとの話は驚きばかり。大学で航空を学ぶパイロットの資格をすでに持っている将来有望なオーストラリアや台湾の友達。年が10歳以上違う看護師として働くコロンビアの友達。ワーホリで1年間、ダブルワークをして働くスペインやドイツの友達。日本が大好きで私よりも日本の事が詳しい台湾の友達。ホストファミリーとのトラブルで居場所を転々としていた時に、会って1週間程であるのに友達だからと助けてくれた中国人の雨萌とは今は親友だ。政治、社会、文化や肌の色の違いなど私には全く関係ない。異文化理解とか多様性とか難しいことではなく、彼らは「外国人」ではなく私の「友人」だ。自国以外からの人がいる・彼らと生活する事が当たり前だった。各国に友人を持つと同時にグッと世界が狭くなり、そして他国に親しみを感じるようになった。これから、もっと色々な国に行って私の知らない・感じたことのない世界を見たい。

7. 度胸・行動力

初めは全てが怖かった。片道チケットを取って、1人で飛行機に乗り日本を飛び出し、異国の地で生活をする。友達もいなければ、頼れる日本人も1人もいない。ホームシックもくらいトラブルだらけ。ホストマザーと喧嘩して、窓から逃げて…etc 助けを求めるにしても、結局は自分から行動しなければいけない。試練を超えるたびに私は強くなった。

8. 知識・興味や関心/価値観の変化

大学で航空やビジネス、多文化理解、観光など多くの今まで勉強しなかった学問に触れ、各国の友達や学生と話し興味が広がった。「日本人としての視野の狭い世界や人生の見方」が払拭された。人生の選択肢の多さ・自分の生きたい場所はどこなのか・痩せているが美しいのか・20代しか大学に行ってはいけないのか・ジェンダー・家族や友達、環境の大切さ、当たり前などない、ネガティブは損をする・人との距離の近さ。

